

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2020年1月27日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 寒冷・積雪の冬の生活を支える「福祉灯油」の実施を！

積雪・寒冷の北海道で、市町村の多くが、冬期間の住民生活を支えるため、福祉灯油を実施しています。この冬も、各地で福祉灯油の実施と拡充を求める取り組みが行われています(2019年度 10月現在の実施予定は110市町村 未定61市町村)。



- 「区民センターのロビーに同じ顔ぶれの高齢者がいる。家にいると灯油代がかかるためです。家で温かく過ごせるようにしてほしい」(新婦人)
- 「北海道は非正規雇用が多く、札幌は政令指定都市の中でも最も賃金が低い。非正規労働者は寒冷期手当もなく、冬季間の生活は厳しい。若者対策としても福祉灯油は適切な政策」(地区労連)
- 「受験生を持つ母子家庭のお母さんが『節約のため夜9時になったら暖房を止めざるをえない。その後は厚着をさせて勉強をさせている』と話していました。補正予算を組んでも実施してほしい」

### 札幌市へ要請行動

1月14日、札幌社会保障推進協議会など5団体は、札幌市に対し、低所得世帯や生活保護世帯などへの「福祉灯油」「あったか応援資金」の実施を要請しました。

### 節約のため暖房を止める中、受験生が厚着で勉強

＜参加者からの切実な声＞

- 「年金は年々下がり、消費税は10%に増税になった。暖房は生死にかかわる」(年金生活者)

### 釧路市でも要請

いのちとくらしを守る釧路市民会議は、12月17日、釧路市に対して、福祉灯油を含む「2020年度予算、および市政執行に対する要望書(78項目)」を提出しています。

◆要望内容◆ 2017年度、道内では179市町村中96自治体で福祉灯油が実施されています。釧路市でも生活保護受給世帯・住民税非課税世帯等を対象として福祉灯油(ぬくもり助成金)を実施すること。(釧路市では、過去に福祉灯油を実施したことがあります)

### 北海道民医連 冬季高齢者生活実態調査中 冬の高齢者世帯、生活困難浮ぼりに

Aさん(75歳)は、月8万5千円の年金で一人暮らし。一昨年家族が亡くなり、その葬儀費用で蓄えがなくなりました。灯油代は月5~6千円。ストーブをつけるのは朝6時から夕方5時半まで、その後は布団の中で過ごしています。吐息が白くなります。病院に月1回歩いて通院、近所付き合いもありません。あとは食費を削るだけ(道南勤医協だより)。

雇用・くらし・SOSネットワーク北海道総会

### 学習会「更生保護施設の役割について」

日時 1月30日(木) 18時~ 場所 南大通ビル4階会議室(中央区大通西10-4)

講師 佐々木 孝一さん(更生保護法人 札幌大化院施設長、保護司)

◆更生保護施設は、犯罪非行をした人たちの社会的経済的な自立を支援する施設です。

北海道の労働と福祉を考える会 20周年企画

### ホームレスの発見とそれから

記念講演「社会運動と若者」& 歴代スタッフによるルートワーク「労福の20年を考える」

日時 2月29日(土) 13時~

場所 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W103室